

トライアングルエヒメ推進事業 概 要

1 目的

本県では、産業の稼ぐ力の更なる強化のため、デジタル技術やロボットを実装し、地域課題の解決にチャレンジするデジタル実装を令和4年度より推進している。各種産業のモデル事業者が取得したデータを有効活用した勉強会や、令和4年度に整備した官民共創空間「トライアングルベース」を活用したネットワーキングの実施を通してDXを県内の各地、各種産業に広げ、全国に先駆けて「デジタル実装の聖地」を目指すことにより、最先端のデジタル技術を有する県外事業の誘致を図る。

2 事業概要

(1) 実装事業の募集

- ・愛媛県内を実証フィールドとして、民間事業者（コンソーシアムを含む。）から企画提案を募集し、審査会においてデジタル技術の実装や県内への横展開の実現性等の高い提案を 28 件程度選定するための補助資料を作成する。

(2) 実装事業の実施

- ・新規選定した事業及び令和4年度採択事業について、それぞれ委託契約を締結の上、各地域で実装事業を実施し、進捗に応じた必要な支援を行う。
- ・実装で得られたデータを蓄積するとともに、デジタル技術の実装や県内への横展開の実現性等について検証する。
- ・最終的な事業の成果については、整理して県に報告するとともに、別途成果発表イベント及びプロモーションを実施する。

(3) 勉強会の開催

- ・実装事業を実施する事業者が、当事業から得られたデータ等を用いた事業者同士の勉強会を開催する。

※事業評価の数値目標として想定している項目（令和6年度末）

実装定着 50 件、勉強会実施 100 件、データ利活用協議会新設 5 件、
協業数 100 件

